

あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

つよし

—第24号—

令和3年10月11日
平戸市立津吉小学校
文責 校長 田川定司

届ける感動 拍手の嵐

朝夕の風に、秋の訪れを感じる今日この頃、校庭の葉っぱも少しずつ赤や黄色に色づき始めています。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉のとおり、9月下旬以降は空気がひんやりとしてくるとともに、空の青さが一段と鮮やかに感じられるようになりました。

さて、季節は秋になり、通学路や田んぼのあぜ道にヒガンバナやコスモスなど秋の花々が色鮮やかに咲いています。本日開催した音読集会では、そのヒガンバナについて話をしました。4年生の国語の教科書『ごんぎつね』の葬式の情景描写の中で描かれているヒガンバナですが、別名は曼珠沙華(マンジュシャゲ)とも呼ばれ、道端や水田のあぜなどに群生し、秋の彼岸の頃に鮮やかな赤い花を咲かせる花です。地下の球根に強い毒性を有する有毒植物ですが、日本では水田のあぜや墓地に人為的に植えられ、水田を荒らす動物がその毒を嫌って忌避するようにするためとされています。



不吉な別名がついたり墓地近くに植えられたりしていたため、あまり縁起の良い花の印象はないですが、第二次世界大戦中などの戦時や非常時においては、毒抜きしてデンプンを食べるなど、飢饉などに備えて植えられていた貴重な作物でもあります。

29日(金)はいよいよ「学習発表会」です。今年度もコロナ渦の中での練習で、配慮することが多くありますが、子どもたちは集中して練習に取り組み、本番に向かってクラス一丸となって頑張っています。今年のスローガンは「届ける感動 拍手の嵐」です。みんなで力を合わせていくことで、連帯感が生まれ、大きな達成感も味わうことができます。集団の中での人とのかかわり合いから、心を合わせて努力することや困ったときに助け合うことの良さを肌で感じてほしいと思います。子どもたちの活躍を楽しみにしています。当日は、大きな拍手をどうぞよろしくお願いいたします。



1・2年生「生活科見学」

10月5日(火)に1・2年生が生活科の学習で、「たびら昆虫自然園」や「平戸図書館」に行ってきました。天候にも恵まれ、昆虫園では、生き物の採取や観察を十分楽しむことができました。お昼からは、平戸図書館に行き、「おはなし会」をしていただいたり、たくさんの本に触れたりすることができました。